

令和 2 年 6 月 9 日現在

機関番号：31201

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2017～2019

課題番号：17K08700

研究課題名(和文) 発生部位による microsatellite stable型大腸癌の分子解析

研究課題名(英文) Molecular differences in the microsatellite stable phenotype between left-sided and right-sided colorectal cancer

研究代表者

菅井 有 (SUGAI, TAMOTSU)

岩手医科大学・医学部・教授

研究者番号：20187628

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：大腸癌の分子病型は主にmicrosatellite stable (MSS)とmicrosatellite instabilityに大別される。大腸癌の分子異常が発生部位に依存していることを明らかにするために同一の分子病型(MSS型)に基づいて分子異常を解析した。MSS型大腸癌における発生部位による分子異常の特徴は、MSS型左側癌では染色体異常の頻度が多くTP53変異が多いのに対して、MSS型右側癌では染色体異常の頻度が左側型MSS型に比較して低く、KRAS変異の頻度が高いことであった。一方メチル化の程度は両部位間には差異はなかった。大腸癌における発生部位は大腸癌の分子異常と関連していた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

大腸癌の発生機序が発生部位によって異なっているという指摘はこれまでなされていたが、それは右側にMSIを引き起こす癌が多いことを指摘している報告が多かった。大腸癌の分子病型では右側発生であってもMSS型が多く、MSS型癌の発生部位に基づいた分子レベルの違いを明らかにした報告は皆無である。本研究では発生部位に基づいたMSS型癌の特徴が明らかになった。近年右側発生の大腸癌の頻度が上昇する傾向があり、発生部位に基づいた大腸癌の分子機序を明らかにすることは大腸癌診療においても欠かすことのできない知見を提供するものと思われる。

研究成果の概要(英文)：To identify genomic differences between MSS type left-sided CRC (LC) and right-sided CRC (RC), we examined a comprehensive molecular analysis using crypt isolation with samples from 92 sporadic CRCs. Microsatellite instability and DNA methylation status were determined. Additionally, mutations in the TP53, KRAS, BRAF, and PIK3CA genes were examined. Finally, a genome-wide study using a single nucleotide polymorphism array was performed. We examined 71 CRCs with the MSS phenotype (LC 56; RC, 15) in the 92 CRCs. Mutations in KRAS were associated with RC with the MSS phenotype, whereas mutations in TP53 were more frequently found in LC with the MSS phenotype. There were significant differences in the frequencies of KRAS and TP53 mutations between LC and RC with the MSS phenotype. CNA gains were associated with LC with the MSS phenotype. These findings suggested that the molecular pathogenesis of the MSS phenotype in LC was different from that in RC.

研究分野：人体病理学、分子病理学、腫瘍病理学、分子腫瘍学

キーワード：大腸癌 左右差 発生部位 コピー数異常 TP53変異 KRAS変異

様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

## 1. 研究開始当初の背景

(1) 大腸は発生学的に異なっている 2 つのセグメントで構成されているが、正常粘膜においても粘液や抗原性などで両者に違いがあることが指摘されている。

(2) 大腸癌の分子病型は主に microsatellite stable (MSS) と microsatellite instability (MSI) に大別される。

(3) 大腸癌の右側癌の分子異常の特徴は MSI であるとされてきたが、右側癌においても MSS 型の方が頻度的にも多い。

(4) 大腸癌の右側癌の分子異常の特徴は MSI であるとされてきたが、右側癌においても MSS 型の方が頻度的にも多い。大腸癌の分子異常が発生部位に依存していることを明らかにするためには同一の分子病型に基づいて分子異常を解析することが必要である。

## 2. 研究の目的

大腸癌に発生部位による差異があることは以前から指摘されてきたが、必ずしも多くの支持を集めるほどには至らなかった。しかし最近右側癌の予後が左側癌と比較して予後が不良である可能性が指摘されるようになり、再び大腸癌の発生部位の差異が注目を集めるようになった。発生部位における大腸癌の臨床病理学的、分子病理学的差異は大腸癌の基礎的理解に重要であるばかりでなく、癌の早期診断や治療法の選択においても有用な情報を提供する可能性がある。本稿ではこれまで指摘されてきた大腸癌の発生部位による差異を概説し現時点における大腸癌の病理発生の最新の知見を提供することを目的にする。

## 3. 研究の方法

岩手医科大学外科で切除された進行大腸癌を用いて腺管分離法で正常腺管及び癌腺管を分離する。実体顕微鏡下で回収された分離腺管から DNA を抽出し、PCR-microsatellite 法を用いて癌の分子病型を MSI 及び MSS に分類する。MSS 型大腸癌を発生部位(左側及び右側大腸)に従って分類し、それぞれについて臨床病理学的所見、分子異常の違いを明らかにする。APC, KRAS, p53, BRAF, PI3CK 遺伝子変異の検出は APC, PI3CK については PCR-SSCP 法で変異バンドを同定後、ゲル内の変異バンドから DNA を抽出し、PCR-direct sequence 法で変異を確定する。KRAS 及び BRAF についてはパイロシークエンサーで変異を同定する。CIMP 状態については Kaneda らの 2 パネル法でメチル化の程度

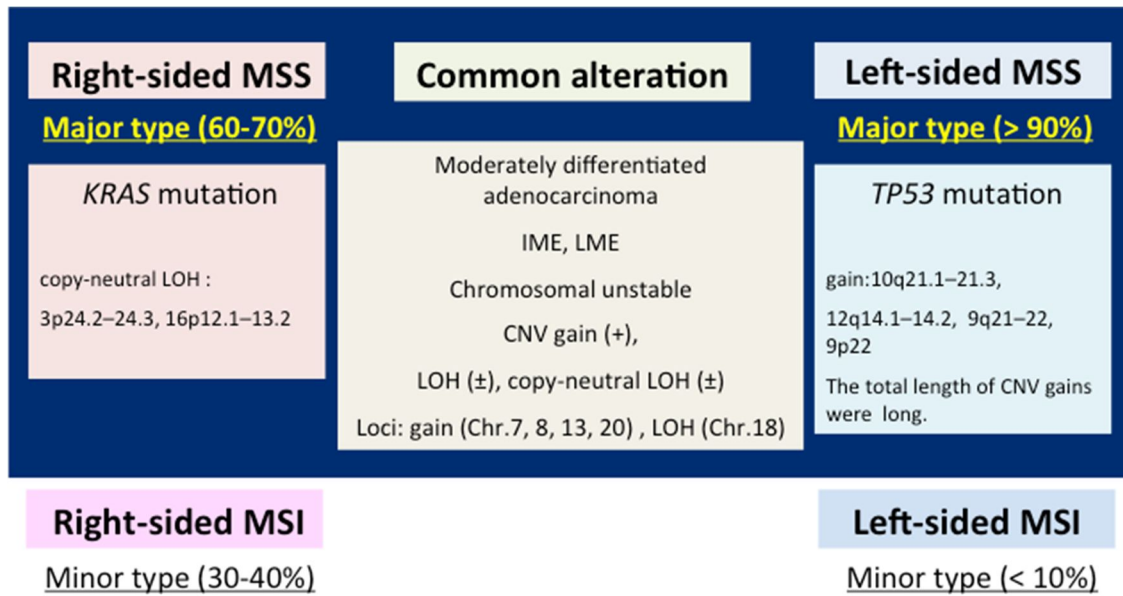
を高(CIMP-highに相当)、中、低に分類する。CNV (Gain, LOH, copy neutral LOH)については SNP array 法 (Illumina Human CytoSNP12 Bead Chip) を用いた。

#### 4. 研究成果

大腸癌の分子病型は MSS (microsatellite stable) 型と MSI (Microsatellite instability) 型に大別され、両者の発癌機序は排他的関係にあるとされている。MSS は染色体上の変化が特徴的で chromosomal instability (CIN) と密接に関係していることは周知の通りである。MSS 型、特に CIN 型は *TP53* 変異と関連しており、*KRAS* 変異は MSS 型にやや多いが、MSI 型にもみられることが指摘されている。*BRAF* 変異は MIN 型を特徴づける変異で、MIN 型癌で圧倒的に多い。両者は組織像も特徴的で後者は分化型腺癌が一般的で、中央部に壊死の目立つ分化型腺癌が CIN の典型的な組織像とされる。一方で MIN 型では低分化腺癌 (特に髄様癌、印環細胞癌)、粘液癌、鋸歯状腺癌の像を呈することが多い。また後者の組織像としては tumor infiltrating lymphocyte (TIL) やクローン病様リンパ球浸潤などが MIN 型癌を特徴づけることが明らかにされている。

大腸癌の発癌機序と発生部位との関係も指摘されており、実際 MSI は右側大腸に好発することがよく知られている。一方で MSS 型大腸癌は左側のみならず右側にも発生し、MSI のような部位による差異は明らかにされていない。我々は MSS 型を呈した 71 例 (左側癌 56 例, 右側癌 15 例) について変異解析 (*TP53*, *KRAS*, *BRAF*, *PI3K*), DNA メチル化解析 (高メチル化状態、中メチル化状態、低メチル化状態に分類) CNA (Copy Number Alteration) (gain, loss に大別し後者は LOH と copy neutral LOH に分類) 解析を行い、発生部位による分子異常の特徴について検討した。加えて CNA については CNA を示した各染色体上の DNA の長さの総和についても算出した。変異解析では右側 MSS 型癌に *KRAS* 変異の頻度が高く、左側 MSS 型癌に *TP53* 変異が多かった。DNA メチル化解析では両群間とも中から低メチル化状態が多かった。CNA 解析では左側 MSS 型癌では、CNA gain が多数の染色体に高頻度に生じ、CNA gain の長さが有意に長かった。また、左側 MSS 型癌では 9q, 10q, 12q の CNA gain が有意に高く、右側 MSS 型癌では 3p, 16p の CNA LOH が有意に高かった。MSS 型癌では発生部位により異なる分子プロファイルを呈し、両群間の腫瘍発生の機序が異

なることが示唆された。図 1 及び 2 に代表的な左側癌及び右側癌の症例の分子異常を提示する。図には我々が明らかにした MSS 型大腸癌の発生部位による分子異常仮説を示す。



図：発生部位に基づいた分子異常仮説

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計104件（うち査読付論文 104件／うち国際共著 0件／うちオープンアクセス 76件）

1. 著者名 Ohashi R, Martignoni G, Hartmann A, Calio A, Segala D, Stohr C, Wach S, Erlmeier F, Weichert W, Autenrieth M, Schraml P, Rupp NJ, Ohe C, Otsuki Y, Kawasaki T, Kobayashi H, Kobayashi K, Miyazaki T, Shibuya H, Usuda H, Umezu H, Fujishima F, Furusato B, Osakabe M, Sugai T, etc	4. 巻 476
2. 論文標題 Multi-institutional re-evaluation of prognostic factors in chromophobe renal cell carcinoma: proposal of a novel two-tiered grading scheme.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Virchows Arch	6. 最初と最後の頁 409-418
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00428-019-02710-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Gonai T, Kawasaki K, Nakamura S, Yanai S, Akasaka R, Sato K, Toya Y, Asakura K, Urushikubo J, Fujita Y, Eizuka M, Uesugi N, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 18
2. 論文標題 Microvascular density under magnifying narrow-band imaging endoscopy in colorectal epithelial neoplasms.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Intest Res	6. 最初と最後の頁 107-114
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5217/ir.2019.00061.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Sato A, Fujita Y, Otsuka K, Sasaki A, Suzuki H, Matsumoto T, Sugai T.	4. 巻 70
2. 論文標題 Differential expression of microRNAs in colorectal cancer: Different patterns between isolated cancer gland and stromal cells.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Pathol Int	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/pin.12872.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -
1. 著者名 Tsuyukubo T, Ishida K, Osakabe M, Shiomi E, Kato R, Takata R, Obara W, Sugai T.	4. 巻 59
2. 論文標題 Comprehensive analysis of somatic copy number alterations in clear cell renal cell carcinoma.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Mol Carcinog	6. 最初と最後の頁 412-424
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mc.23164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nakanishi H, Sawada T, Kaizaki Y, Ota R, Suzuki H, Yamamoto E, Aoki H, Eizuka M, Hasatani K, Takahashi N, Inagaki S, Ebi M, Kato H, Kubota E, Kataoka H, Takahashi S, Tokino T, Minamoto T, Sugai T, Sasaki Y.	4. 巻 15
2. 論文標題 Significance of gene mutations in the Wnt signaling pathway in traditional serrated adenomas of the colon and rectum.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 PLoS One	6. 最初と最後の頁 e229262-e229262
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1371/journal.pone.0229262.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Endo M, Oizumi T, Akasaka R, Yanai S, Kawasaki K, Nakamura S, Eizuka M, Fujita Y, Uesugi N, Ishida K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 -
2. 論文標題 A diagnostic algorithm of magnifying endoscopy with crystal violet staining for non-ampullary duodenal epithelial tumors.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dig Endosc	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/den.13640.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 -
2. 論文標題 White Opaque Substance Under Narrow-Band Imaging Colonoscopy May Hinder Microvascular Pattern Recognition in Colorectal Tumors.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Dig Endosc	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/den.13667.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nikai H, Ishida K, Umemura A, Baba S, Nitta H, Sugai T, Sasaki A.	4. 巻 -
2. 論文標題 Effects of Laparoscopic Sleeve Gastrectomy on Non-Alcoholic Steatohepatitis and Liver Fibrosis in Japanese Patients with Severe Obesity.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Obes Surg	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11695-020-04515-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yorozu A, Yamamoto E, Niinuma T, Tsuyada A, Maruyama R, Kitajima H, Numata Y, Kai M, Sudo G, Kubo T, Nishidate T, Okita K, Takemasa I, Nakase H, Sugai T, Takano K, Suzuki H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Upregulation of AEBP1 in endothelial cells promotes tumor angiogenesis in colorectal cancer.	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Cancer Sci	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.14360.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Umemura A, Ishida K, Nitta H, Takahara T, Hasegawa Y, Makabe K, Sugai T, Sasaki A.	4. 巻 12
2. 論文標題 An extremely rare case who underwent total remnant pancreatectomy due to recurrent pancreatic metastasis of intraductal tubulopapillary neoplasm.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin J Gastroenterol	6. 最初と最後の頁 153-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12328-018-0913-x.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishida K, Yamashita R, Osakabe M, Uesugi N, Yamada N, Nitta H, Fujishima F, Motoi F, Suzuki H, Shimamura H, Noda Y, Sawai T, Unno M, Sasano H, Sasaki A, Sugai T.	4. 巻 48
2. 論文標題 Expression of Epithelial-Mesenchymal Transition Proteins in Pancreatic Anaplastic (Undifferentiated) Carcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Pancreas.	6. 最初と最後の頁 36-42
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MPA.0000000000001199.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai S, Yamaguchi S, Nakamura S, Kawasaki K, Toya Y, Yamada N, Eizuka M, Uesugi N, Umeno J, Esaki M, Okimoto E, Ishihara S, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 13
2. 論文標題 Distinction between Chronic Enteropathy Associated with the SLC02A1 Gene and Crohn's Disease.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gut Liver.	6. 最初と最後の頁 62-66
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5009/gnl18261.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Suzuki H, Yamamoto E, Yamano HO, Nakase H, Sugai T.	4. 巻 99
2. 論文標題 Integrated Analysis of the Endoscopic, Pathological and Molecular Characteristics of Colorectal Tumorigenesis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Digestion.	6. 最初と最後の頁 33-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000494410.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Endo M, Nakamura S, Akasaka R, Yanai S, Kawasaki K, Koeda K, Eizuka M, Fujita Y, Uesugi N, Ishida K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 22
2. 論文標題 Long-term outcomes and prognostic factors with non-curative endoscopic submucosal dissection for gastric cancer in elderly patients aged 75 years.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Gastric Cancer.	6. 最初と最後の頁 838-844
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-00913-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tsunoda K, Onishi M, Maeda F, Akasaka T, Sugai T, Amano H.	4. 巻 99
2. 論文標題 Evaluation of Sentinel Lymph Node Biopsy for Eccrine Porocarcinoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Acta Derm Venereol.	6. 最初と最後の頁 691-692
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2340/00015555-3173.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kakisaka K, Suzuki Y, Fujiwara Y, Abe T, Yonezawa M, Kuroda H, Ishida K, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 54
2. 論文標題 Response to the letter by Sumida et al. regarding our manuscript "Evaluation of ballooned hepatocytes as a risk factor for future progression of fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease".	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 476-477
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-019-01574-w.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 Osakabe M, Fukagawa D, Sato C, Sugimoto R, Uesugi N, Ishida K, Itamochi H, Sugiyama T, Sugai T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Immunohistochemical analysis of the epithelial to mesenchymal transition in uterine carcinosarcoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Gynecol Cancer.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1136/ijgc-2018-000038.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Osakabe M, Sato C, Suzuki M, Sugimoto R, Fujita Y, Uesugi N, Ishida K, Itamochi H, Baba T, Sugai T.	4. 巻 14
2. 論文標題 Mesenteric extraovarian Sertoli-Leydig cell tumor without DICER1 hotspot mutation: a case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Diagn Pathol.	6. 最初と最後の頁 27-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13000-019-0805-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uesugi N, Sugai T, Sugimoto R, Eizuka M, Fujita Y, Sato A, Osakabe M, Ishida K, Shiomi E, Toya Y, Akasaka R, Matsumoto T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Clinicopathological and Molecular Findings of Differentiated-Type Minute Gastric Intramucosal Neoplasia.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Digestion.	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000499464.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Nakamura S, Esaki M, Kurahara K, Eizuka M, Nuki Y, Kochi S, Fujiwara M, Oshiro Y, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 4
2. 論文標題 Clinical usefulness of magnifying colonoscopy for the diagnosis of ulcerative colitis-associated neoplasia.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 JACC Basic Transl Sci.	6. 最初と最後の頁 234-247
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/den.13382.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Niinuma T, Kitajima H, Kai M, Yamamoto E, Yorozu A, Ishiguro K, Sasaki H, Sudo G, Toyota M, Hatahira T, Maruyama R, Tokino T, Nakase H, Sugai T, Suzuki H.	4. 巻 11
2. 論文標題 UHRF1 depletion and HDAC inhibition reactivate epigenetically silenced genes in colorectal cancer cells.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Clin Epigenetics.	6. 最初と最後の頁 70-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13148-019-0668-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujita Y, Uesugi N, Sugimoto R, Eizuka M, Matsumoto T, Sugai T.	4. 巻 14
2. 論文標題 Gastric mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine neoplasm (MiNEN) with pancreatic acinar differentiation: a case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Diagn Pathol.	6. 最初と最後の頁 38-38
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13000-019-0815-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Eizuka M, Nakamura S, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 28
2. 論文標題 Methotrexate-Associated Lymphoproliferative Disorder of the Stomach Observed by Magnifying Narrow-Band Imaging Endoscopy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gastrointestin Liver Dis.	6. 最初と最後の頁 145-145
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15403/jgld-170.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Shiomi E, Sugai T, Ishida K, Osakabe M, Tsuyukubo T, Kato Y, Takata R, Obara W.	4. 巻 9
2. 論文標題 Analysis of Expression Patterns of MicroRNAs That Are Closely Associated With Renal Carcinogenesis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Front Oncol.	6. 最初と最後の頁 431-431
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3389/fonc.2019.00431.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Eizuka M, Nakamura S, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 34
2. 論文標題 Gastrointestinal: Discordant lymphoma consisting of ileal follicular lymphoma and colonic mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 J Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 1894-1894
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.14723.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Urushikubo J, Kawasaki K, Eizuka M, Yanai S, Nakamura S, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 25
2. 論文標題 Ustekinumab Improves Paradoxical Enteropathy Associated With Psoriasis Arthritis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Inflamm Bowel Dis.	6. 最初と最後の頁 128-129
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1093/ibd/izz154.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Uesugi N, Tateno H, Yokoyama H, Abe S, Sugimoto R, Sugai T.	4. 巻 13
2. 論文標題 Melanocytic Nevus of the Colon.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Case Rep Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 271-274
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000501196.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Endo M, Oizumi T, Akasaka R, Yanai S, Kawasaki K, Nakamura S, Eizuka M, Fujita Y, Uesugi N, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 65
2. 論文標題 Risk Factors for Post-gastric Endoscopic Submucosal Dissection Bleeding with a Special Emphasis on Anticoagulant Therapy.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dig Dis Sci.	6. 最初と最後の頁 557-564
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10620-019-05776-3.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishida K, Osakabe M, Eizuka M, Tai S, Sugimoto R, Fujita Y, Katagiri H, Takahara T, Uesugi N, Nitta H, Sasaki A, Sugai T.	4. 巻 92
2. 論文標題 The expression of gastrointestinal differentiation markers in extrahepatic cholangiocarcinoma: clinicopathological significance based on tumor location.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Hum Pathol.	6. 最初と最後の頁 91-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2019.08.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Beppu T, Sato Y, Yamada N, Terasaki K, Sasaki T, Sugai T, Ogasawara K.	4. 巻 12
2. 論文標題 Impacts on Histological Features and 11C-Methyl-L-methionine Uptake After "One-Shot" Administration with Bevacizumab Before Surgery in Newly Diagnosed Glioblastoma.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transl Oncol.	6. 最初と最後の頁 1480-1487
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.tranon.2019.08.002.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Toya Y, Akasaka R, Oizumi T, Ishida K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Immune checkpoint inhibitor-induced diarrhea: A clinicopathological study of eleven patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dig Endosc.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/den.13555.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ohashi R, Schraml P, Angori S, Batavia AA, Rupp NJ, Ohe C, Otsuki Y, Kawasaki T, Kobayashi H, Kobayashi K, Miyazaki T, Shibuya H, Usuda H, Umezu H, Fujishima F, Furusato B, Osakabe M, Sugai T, Kuroda N, Tsuzuki T, Nagashima Y, Ajioka Y, Moch H.	4. 巻 11
2. 論文標題 Classic Chromophobe Renal Cell Carcinoma Incur a Larger Number of Chromosomal Losses Than Seen in the Eosinophilic Subtype.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Cancers (Basel).	6. 最初と最後の頁 1492-1492
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/cancers11101492.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanagihara W, Beppu T, Ogasawara Y, Ito S, Sato Y, Sugai T, Ogasawara K.	4. 巻 134
2. 論文標題 Primary plasmacytoma in the cerebellum: A case report and literature review.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 World Neurosurg.	6. 最初と最後の頁 10-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.wneu.2019.10.036.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Suzuki Y, Kakisaka K, Wang T, Ishida K, Suzuki A, Abe H, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 9
2. 論文標題 IL-8 induces transdifferentiation of mature hepatocytes toward the cholangiocyte phenotype.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 FEBS Open Bio.	6. 最初と最後の頁 2105-2116
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/2211-5463.12750.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Nakamura S, Esaki M, Kurahara K, Eizuka M, Okamoto Y, Hirata T, Hirahashi M, Oshiro Y, Yanai S, Sato K, Toya Y, Maemondo M, Terayama Y, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 7
2. 論文標題 Gastrointestinal involvement in patients with vasculitis: IgA vasculitis and eosinophilic granulomatosis with polyangiitis.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Endosc Int Open.	6. 最初と最後の頁 1333-1343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1055/a-0977-2777.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Amemori S, Yamano H, Tanaka Y, Yoshikawa K, Matsushita H, Takagi R, Harada E, Yoshida Y, Tsuda K, Kato B, Tamura E, Eizuka M, Sugai T, Adachi Y, Yamamoto E, Suzuki H, Nakase H.	4. 巻 -
2. 論文標題 Sessile serrated polyp/adenoma (SSA/P) showed rapid malignant transformation in the final thirteen months - case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Dig Endosc.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/den.13572.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiba R, Morikawa N, Sera K, Ishida K, Nagashima H, Shigeeda W, Deguchi H, Tomoyasu M, Hosokawa T, Saito H, Sugai T, Yamauchi K, Maemondo M.	4. 巻 8
2. 論文標題 Elemental and mutational analysis of lung tissue in lung adenocarcinoma patients.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transl Lung Cancer Res.	6. 最初と最後の頁 224-234
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/tlcr.2019.08.18.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugimoto R, Uesugi N, Yamada N, Osakabe M, Fujita Y, Eizuka M, Kato R, Ishida K, Obara W, Nagashima Y, Sugai T.	4. 巻 12
2. 論文標題 Sarcomatoid change associated with epithelial-mesenchymal transition in mucinous tubular and spindle cell carcinoma of the kidney: a case report.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Int J Clin Exp Pathol.	6. 最初と最後の頁 2767-2771
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Takahashi Y, Eizuka M, Sugimoto R, Fujita Y, Habano W, Otsuka K, Sasaki A, Yamamoto E, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 57
2. 論文標題 Molecular profiling and genome-wide analysis based on somatic copy number alterations in advanced colorectal cancers.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Mol Carcinog.	6. 最初と最後の頁 451-461
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mc.22769.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Eizuka M, Habano W, Fujita Y, Sato A, Sugimoto R, Otsuka K, Yamamoto E, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Comprehensive molecular analysis based on somatic copy number alterations in intramucosal colorectal neoplasias and early invasive colorectal cancers.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget.	6. 最初と最後の頁 22895-22906
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.25112.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Eizuka M, Arakawa N, Osakabe M, Habano W, Fujita Y, Yamamoto E, Yamano H, Endoh M, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 21
2. 論文標題 Molecular profiling and comprehensive genome-wide analysis of somatic copy number alterations in gastric intramucosal neoplasias based on microsatellite status.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastric Cancer.	6. 最初と最後の頁 765-775
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-018-0810-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Eizuka M, Fujita Y, Kawasaki K, Yamamoto E, Ishida K, Yamano H, Suzuki H, Matsumoto T.	4. 巻 63
2. 論文標題 Molecular Profiling Based on KRAS/BRAF Mutation, Methylation, and Microsatellite Statuses in Serrated Lesions.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dig Dis Sci.	6. 最初と最後の頁 2626-2638
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10620-018-5167-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Uesugi N, Kitada Y, Yamada N, Osakabe M, Eizuka M, Sugimoto R, Fujita Y, Kawasaki K, Yamamoto E, Yamano H, Suzuki H, Matsumoto T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Analysis of the expression of cancer-associated fibroblast- and EMT-related proteins in submucosal invasive colorectal cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Cancer.	6. 最初と最後の頁 2702-2712
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7150/jca.25646.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujita Y, Kishimoto M, Dohi O, Kamada K, Majima A, Kimura-Tsuchiya R, Yagi N, Konishi H, Naito Y, Harada Y, Tanaka H, Konishi E, Sugai T, Yanagisawa A.	4. 巻 21
2. 論文標題 How to adjust endoscopic findings to histopathological findings of the stomach: a "histopathology-oriented" correspondence method helps to understand endoscopic findings.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastric Cancer.	6. 最初と最後の頁 573-577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-017-0762-1.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eizuka M, Kawasaki K, Toya Y, Akasaka R, Otsuka K, Sasaki A, Matsumoto T, Sugai T.	4. 巻 12
2. 論文標題 Colorectal Adenocarcinoma with an Alternative Serrated Pathway.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Case Rep Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 116-124
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000488192.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ishida K, Tamura A, Kato K, Uesugi N, Osakabe M, Eizuka M, Hasegawa Y, Nitta H, Otsuka K, Sasaki A, Ehara S, Sugai T.	4. 巻 43
2. 論文標題 Correlation between CT morphologic appearance and histologic findings in colorectal liver metastasis after preoperative chemotherapy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Abdom Radiol (NY).	6. 最初と最後の頁 2991-3000
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00261-018-1588-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Asakura K, Yanai S, Nakamura S, Kawaski K, Eizuka M, Ishida K, Endo M, Sugai T, Migita K, Matsumoto T.	4. 巻 97
2. 論文標題 Familial Mediterranean fever mimicking Crohn disease: A case report.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medicine (Baltimore).	6. 最初と最後の頁 e9547-e9547
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000009547.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kanasugi T, Kikuchi A, Uesugi N, Fukagawa D, Chida H, Sasaki Y, Haba G, Isurugi C, Oyama R, Sugai T, Sugiyama T.	4. 巻 58
2. 論文標題 Pentalogy of Cantrell in a monozygotic twin with a giant omphalocele firmly attached to the amniotic membrane: successful prenatal diagnosis and cesarean delivery.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Congenit Anom (Kyoto).	6. 最初と最後の頁 73-74
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cga.12237.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Toya Y, Endo M, Akasaka R, Urushikubo J, Gonai T, Asakura K, Yanai S, Kawasaki K, Eizuka M, Uesugi N, Nakamura S, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 97
2. 論文標題 Clinicopathological Features and Magnifying Chromoendoscopic Findings of Non-Ampullary Duodenal Epithelial Tumors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Digestion.	6. 最初と最後の頁 219-227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1159/000485505.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Endo K, Kuroda H, Kakisaka K, Oikawa T, Sawara K, Ishida K, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 57
2. 論文標題 Hepatic Angiomyolipoma Staining in the Post-vascular Phase of Contrast-enhanced Ultrasound Due to the Presence of Macrophages.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Intern Med.	6. 最初と最後の頁 1247-1251
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.9697-17.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ninuma T, Suzuki H, Sugai T.	4. 巻 3
2. 論文標題 Molecular characterization and pathogenesis of gastrointestinal stromal tumor.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transl Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 2 - 2
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.21037/tgh.2018.01.02.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamashita M, Saito R, Yasuhira S, Fukuda Y, Sasamo H, Sugai T, Yamauchi K, Maemondo M.	4. 巻 2018
2. 論文標題 Distinct Profiles of CD163-Positive Macrophages in Idiopathic Interstitial Pneumonias.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Immunol Res.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1155/2018/1436236.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakisaka K, Endo K, Sugimoto R, Ishida K, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 57
2. 論文標題 Budd-Chiari Syndrome and Esophageal Achalasia: A Case of Unrecognized Intrahepatic Cholangiocarcinoma Invading Multiple Organs.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Intern Med.	6. 最初と最後の頁 2197-2201
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2169/internalmedicine.0448-17.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oikawa SI, Shiga K, Saito D, Katagiri K, Ikeda A, Tsuchida K, Miyaguchi J, Ishida K, Sugai T.	4. 巻 15
2. 論文標題 Association between contrast-enhanced ultrasonography and histopathological findings of the metastatic lymph nodes of patients with head and neck cancer: A preliminary study.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncol Lett.	6. 最初と最後の頁 4171-4176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2018.7835.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Yamamoto E, Yamano HO, Sugai T, Kimura T, Tanaka Y, Matsushita HO, Yoshikawa K, Takagi R, Harada E, Nakaoka M, Yoshida Y, Harada T, Sudo G, Eizuka M, Yorozu A, Kitajima H, Niinuma T, Kai M, Nojima M, Suzuki H, Nakase H.	4. 巻 63
2. 論文標題 Subtypes of the Type II Pit Pattern Reflect Distinct Molecular Subclasses in the Serrated Neoplastic Pathway.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Dig Dis Sc.i	6. 最初と最後の頁 1920-1928
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10620-018-5016-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki K, Sugai T, Ishida K, Osakabe M, Amano H, Kimura H, Sakuraba M, Kashiwa K, Kobayashi S.	4. 巻 79
2. 論文標題 Analysis of cancer-associated fibroblasts and the epithelial-mesenchymal transition in cutaneous basal cell carcinoma, squamous cell carcinoma and malignant melanoma.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Hum Pathol.	6. 最初と最後の頁 1-8
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2018.03.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Fujita Y, Uesugi N, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Collagenous Gastritis Observed by Magnifying Narrow-Band Imaging Endoscopy.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gastrointestin Liver Dis.	6. 最初と最後の頁 7-7
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.15403/jgld.2014.1121.271.kaw.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kakisaka K, Suzuki Y, Fujiwara Y, Abe T, Yonezawa M, Kuroda H, Ishida K, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 53
2. 論文標題 Evaluation of ballooned hepatocytes as a risk factor for future progression of fibrosis in patients with non-alcoholic fatty liver disease.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 1285-1291
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-018-1468-9.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Ikarashi D, Kato Y, Katagiri H, Takahara T, Uesugi N, Shiomi E, Sugimura J, Nitta H, Sugai T, Obara W.	4. 巻 25
2. 論文標題 Case of complete response to neoadjuvant therapy using nivolumab in a patient with metastatic renal cell carcinoma.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Int J Urol.	6. 最初と最後の頁 630-632
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/iju.13590.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fukami Y, Kudo SE, Miyachi H, Misawa M, Wakamura K, Suzuki K, Igarashi K, Yamauchi A, Mori Y, Kudo T, Hayashi T, Katagiri A, Hamatani S, Sugai T.	4. 巻 11
2. 論文標題 Diminutive intramucosal invasive (Tis) sigmoid colon carcinoma.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Clin J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 359-363
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12328-018-0864-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Nakamura S, Urushikubo J, Sugimoto R, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 22
2. 論文標題 Diffuse Cystic Malformation with Early Gastric Cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gastrointest Surg.	6. 最初と最後の頁 1130-1131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11605-017-3647-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Fukagawa D, Sugai T, Osakabe M, Suga Y, Nagasawa T, Itamochi H, Sugiyama T.	4. 巻 9
2. 論文標題 Protein expression patterns in cancer-associated fibroblasts and cells undergoing the epithelial-mesenchymal transition in ovarian cancers.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncotarget.	6. 最初と最後の頁 27514-27524
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.25518.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Harada T, Yamamoto E, Yamano HO, Aoki H, Matsushita HO, Yoshikawa K, Takagi R, Harada E, Tanaka Y, Yoshida Y, Eizuka M, Yorozu A, Sudo G, Kitajima H, Niinuma T, Kai M, Sasaki Y, Tokino T, Sugai T, Nakase H, Suzuki H.	4. 巻 53
2. 論文標題 Surface microstructures are associated with mutational intratumoral heterogeneity in colorectal tumors.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 1241-1252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-018-1481-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Nakamura S, Fujita Y, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 88
2. 論文標題 Coexistence of early cancer and mucosa-associated lymphoid tissue lymphoma in Helicobacter pylori-eradicated stomach.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Gastrointest Endosc.	6. 最初と最後の頁 877-878
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gie.2018.07.011.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Sasaki T, Suzuki Y, Ishida K, Kakisaka K, Abe H, Sugai T, Takikawa Y.	4. 巻 97
2. 論文標題 Autoimmune hepatitis following influenza virus vaccination: Two case reports.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Medicine (Baltimore).	6. 最初と最後の頁 e11621-e11621
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/MD.00000000000011621.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiyama K, Maruyama R, Niinuma T, Kai M, Kitajima H, Toyota M, Hatanaka Y, Igarashi T, Kobayashi JI, Ogi K, Dehari H, Miyazaki A, Yorozu A, Yamamoto E, Idogawa M, Sasaki Y, Sugai T, Tokino T, Hiratsuka H, Suzuki H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Screening for long noncoding RNAs associated with oral squamous cell carcinoma reveals the potentially oncogenic actions of DLEU1.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Cell Death Dis.	6. 最初と最後の頁 826-826
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41419-018-0893-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Fujiwara Y, Kuroda H, Abe T, Ishida K, Oguri T, Noguchi S, Sugai T, Kamiyama N, Takikawa Y.	4. 巻 44
2. 論文標題 The B-Mode Image-Guided Ultrasound Attenuation Parameter Accurately Detects Hepatic Steatosis in Chronic Liver Disease.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ultrasound Med Biol.	6. 最初と最後の頁 2223-2232
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ultrasmedbio.2018.06.017.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gonai T, Toya Y, Nakamura S, Kawasaki K, Yanai S, Fujita Y, Uesugi N, Kimura T, Otsuka K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 33
2. 論文標題 Gastrointestinal: Idiopathic myointimal hyperplasia of mesenteric veins.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 J Gastroenterol Hepatol.	6. 最初と最後の頁 1939-1939
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/jgh.14384.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamaguchi S, Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Eizuka M, Uesugi N, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	4. 巻 16
2. 論文標題 Immunohistochemical differentiation between chronic enteropathy associated with SLC02A1 gene and other inflammatory bowel diseases.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Intest Res.	6. 最初と最後の頁 393-399
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5217/ir.2018.16.3.393.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kato Y, Zembutsu H, Takata R, Matsuura T, Kato R, Kanehira M, Iwasaki K, Yamada N, Katagiri T, Sugai T, Fujioka T, Nakamura Y, Obara W.	4. 巻 16
2. 論文標題 A prospective study to examine the accuracies and efficacies of prediction systems for response to neoadjuvant chemotherapy for muscle invasive bladder cancer.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Oncol Lett.	6. 最初と最後の頁 5775-5784
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2018.9330.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Urushikubo J, Yanai S, Nakamura S, Kawasaki K, Akasaka R, Sato K, Toya Y, Asakura K, Gonai T, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 24
2. 論文標題 Practical fecal calprotectin cut-off value for Japanese patients with ulcerative colitis.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 World J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 4384-4392
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v24.i38.4384.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Sugimoto R, Habano W, Endoh M, Eizuka M, Tsuchida K, Yamamoto E, Kawasaki K, Yanai S, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 20
2. 論文標題 Genetic differences stratified by PCR-based microsatellite analysis in gastric intramucosal neoplasia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Gastric Cancer.	6. 最初と最後の頁 286-296
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s10120-016-0616-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Eizuka M, Takahashi Y, Fukagawa T, Habano W, Yamamoto E, Akasaka R, Otuska K, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 108
2. 論文標題 Molecular subtypes of colorectal cancers determined by PCR-based analysis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 427-434
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13164.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Habano W, Takagi R, Yamano H, Eizuka M, Arakawa N, Takahashi Y, Yamamoto E, Kawasaki K, Yanai S, Ishida K, Suzuki H, Matsumoto T.	4. 巻 52
2. 論文標題 Analysis of molecular alterations in laterally spreading tumors of the colorectum.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 715-723
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-016-1269-y.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Eizuka M, Tsuchida K, Sugimoto R, Ishida K, Uesugi N, Yanai S, Akasaka R, Toya Y, Kawasaki K, Nakamura S, Matsumoto T, Sugai T.	4. 巻 70
2. 論文標題 A case of intravascular papillary endothelial hyperplasia of the stomach leading to a novel hypothesis for the pathogenesis.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Histopathology.	6. 最初と最後の頁 672-674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/his.13093.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Yamada N, Eizuka M, Sugimoto R, Uesugi N, Osakabe M, Ishida K, Otsuka K, Sasaki A, Matsumoto T.	4. 巻 8
2. 論文標題 Vascular Invasion and Stromal S100A4 Expression at the Invasive Front of Colorectal Cancer are Novel Determinants and Tumor Prognostic Markers.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Cancer.	6. 最初と最後の頁 1552-1561
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7150/jca.18685.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Uesugi N, Sugai T, Sugimoto R, Eizuka M, Fujita Y, Sato A, Osakabe M, Ishida K, Koeda K, Sasaki A, Matsumoto T.	4. 巻 49
2. 論文標題 Clinicopathological and molecular stability and methylation analyses of gastric papillary adenocarcinoma.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Pathology.	6. 最初と最後の頁 596-603
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.pathol.2017.07.004.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Eizuka M, Sugai T, Habano W, Uesugi N, Takahashi Y, Kawasaki K, Yamamoto E, Suzuki H, Matsumoto T.	4. 巻 52
2. 論文標題 Molecular alterations in colorectal adenomas and intramucosal adenocarcinomas defined by high-density single-nucleotide polymorphism arrays.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 1158-1168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s00535-017-1317-2.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Sugai T, Yoshida M, Eizuka M, Uesugii N, Habano W, Otsuka K, Sasaki A, Yamamoto E, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 55
2. 論文標題 Analysis of the DNA methylation level of cancer-related genes in colorectal cancer and the surrounding normal mucosa.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin Epigenetics.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s13148-017-0352-4.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yamada N, Sugai T, Eizuka M, Tsuchida K, Sugimoto R, Mue Y, Suzuki M, Osakabe M, Uesugi N, Ishida K, Otsuka K, Matsumoto T.	4. 巻 60
2. 論文標題 Tumor budding at the invasive front of colorectal cancer may not be associated with the epithelial-mesenchymal transition.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Hum Pathol.	6. 最初と最後の頁 151-159
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.humpath.2016.10.007.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 Uesugi N, Sugimoto R, Eizuka M, Fujita Y, Osakabe M, Koeda K, Kosaka T, Yanai S, Ishida K, Sasaki A, Matsumoto T, Sugai T.	4. 巻 5
2. 論文標題 Case of gastric neuroendocrine carcinoma showing an interesting tumorigenic pathway.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World J Clin Cases.	6. 最初と最後の頁 397-402
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.12998/wjcc.v5.i11.397.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Arakawa N, Sugai T, Habano W, Eizuka M, Sugimoto R, Akasaka R, Toya Y, Yamamoto E, Koeda K, Sasaki A, Matsumoto T, Suzuki H.	4. 巻 56
2. 論文標題 Genome-wide analysis of DNA copy number alterations in early and advanced gastric cancers.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Carcinog.	6. 最初と最後の頁 527-537
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mc.22514.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Tsuchida K, Sugai T, Uesugi N, Ishida K, Matsuura K, Sato I, Shiga K, Sato H.	4. 巻 38
2. 論文標題 Expression of cell cycle-related proteins in oropharyngeal squamous cell carcinoma based on human papilloma virus status.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncol Rep.	6. 最初と最後の頁 908-016
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/or.2017.5720.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikarashi D, Mue Y, Shiomi E, Takayama M, Kato R, Kato Y, Ishida K, Abe T, Sugai T, Obara W.	4. 巻 11
2. 論文標題 Efficacy of Everolimus for Treating Renal Angiomyolipoma with Inferior Vena Cava Thrombus Associated with Tuberous Sclerosis: A Case Report.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Urol Case Rep.	6. 最初と最後の頁 11-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eucr.2016.12.003.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chiba Y, Sato S, Itamochi H, Yoshino N, Fukagawa D, Kawamura H, Suga Y, Kojima-Chiba A, Muraki Y, Sugai T, Sugiyama T.	4. 巻 27
2. 論文標題 Inhibition of Aurora Kinase A Synergistically Enhances Cytotoxicity in Ovarian Clear Cell Carcinoma Cell Lines Induced by Cisplatin: A Potential Treatment Strategy.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Int J Gynecol Cancer.	6. 最初と最後の頁 1666-1674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1097/IGC.0000000000001081.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kai M, Yamamoto E, Sato A, Yamano H, Niinuma T, Kitajima H, Harada T, Aoki H, Maruyama R, Toyota M, Hatahira T, Nakase H, Sugai T, Yamashita T, Toyota M, Suzuki H.	4. 巻 56
2. 論文標題 Epigenetic silencing of diacylglycerol kinase gamma in colorectal cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Mol Carcinog.	6. 最初と最後の頁 1743-1752
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1002/mc.22631.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Yanai S, Nakamura S, Yamaguchi S, Kawasaki K, Ishida K, Sugai T, Umeno J, Esaki M, Matsumoto T.	4. 巻 10
2. 論文標題 Gastrointestinal mantle cell lymphoma with isolated mass and multiple lymphomatous polyposis: report of two cases.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 327-330
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12328-017-0740-5.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito C, Nishizuka SS, Ishida K, Uesugi N, Sugai T, Tamura G, Koeda K, Sasaki A.	4. 巻 212
2. 論文標題 Analysis of PIK3CA mutations and PI3K pathway proteins in advanced gastric cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Surg Res.	6. 最初と最後の頁 195-204
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jss.2017.01.018.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tanaka Y, Yamano HO, Yamamoto E, Matushita HO, Aoki H, Yoshikawa K, Takagi R, Harada E, Nakaoka M, Yoshida Y, Eizuka M, Sugai T, Suzuki H, Nakase H.	4. 巻 86
2. 論文標題 Endoscopic and Molecular Characterization of Colorectal Sessile Serrated Adenoma/polyps with Cytological Dysplasia.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Gastrointest Endosc.	6. 最初と最後の頁 1131-1138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.gie.2017.05.006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Obara W, Sato F, Takeda K, Kato R, Kato Y, Kanehira M, Takata R, Mimata H, Sugai T, Nakamura Y, Fujioka T.	4. 巻 108
2. 論文標題 Phase I clinical trial of cell division associated 1 (CDCA1) peptide vaccination for castration resistant prostate cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cancer Sci.	6. 最初と最後の頁 1452-1457
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/cas.13278.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Niinuma T, Kai M, Kitajima H, Yamamoto E, Harada T, Maruyama R, Nobuoka T, Nishida T, Kanda T, Hasegawa T, Tokino T, Sugai T, Shinomura Y, Nakase H, Suzuki H.	4. 巻 14
2. 論文標題 Downregulation of miR-186 is associated with metastatic recurrence of gastrointestinal stromal tumors.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncol Lett.	6. 最初と最後の頁 5703-5710
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3892/ol.2017.6911.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Oana S, Matsuda N, Sibata S, Ishida K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 10
2. 論文標題 A case of a "wandering" mobile solitary fibrous tumor occurring in the pancreas.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Clin J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 535-540
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s12328-017-0774-8.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Kawasaki K, Eizuka M, Nakamura S, Endo M, Yanai S, Akasaka R, Toya Y, Fujita Y, Uesugi N, Ishida K, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 23
2. 論文標題 Association between white opaque substance under magnifying colonoscopy and lipid droplets in colorectal epithelial neoplasms.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 World J Gastroenterol.	6. 最初と最後の頁 8367-8375
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3748/wjg.v23.i47.8367.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ikarashi D, Ishida K, Kashiwaba M, Kato Y, Shiomi E, Takayama M, Komatsu H, Takata R, Ohmori S, Sugai T, Obara W.	4. 巻 16
2. 論文標題 Sporadic breast metastasis derived from renal cell carcinoma: A case report.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Urol Case Rep.	6. 最初と最後の頁 126-128
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eucr.2017.11.032.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Toya Y, Nakamura S, Urushikubo J, Sugimoto R, Sugai T, Matsumoto T.	4. 巻 -
2. 論文標題 Diffuse Cystic Malformation with Early Gastric Cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 J Gastrointest Surg.	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1007/s11605-017-3647-z.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Ito A, Kato Y, Shiomi E, Ishii S, Suzuki M, Omori S, Abe T, Tanji S, Sugai T, Obara W.	4. 巻 16
2. 論文標題 Renal pelvic cancer with spleen invasion arising in horseshoe kidney; a case report.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Urol Case Rep.	6. 最初と最後の頁 123-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.eucr.2017.11.031.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Aoki H, Yamamoto E, Takasawa A, Niinuma T, Yamano H, Harada T, Matsushita H, Yoshikawa K, Takagi R, Harada E, Tanaka Y, Yoshida Y, Aoyama T, Eizuka M, Yorozu A, Kitajima H, Kai M, Sawada N, Sugai T, Nakase H, Suzuki H.	4. 巻 9
2. 論文標題 Epigenetic silencing of SMOC1 in traditional serrated adenoma and colorectal cancer.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Oncotarget.	6. 最初と最後の頁 4707-4721
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.18632/oncotarget.23523.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Chida K, Sugawara A, Koji T, Beppu T, Mue Y, Sugai T, Ogasawara K.	4. 巻 9
2. 論文標題 Primary Intramedullary Malignant Lymphoma in the Cervical Cord with a Presyrinx State.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Cureus.	6. 最初と最後の頁 2006-2006
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.7759/cureus.2006.	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

〔学会発表〕 計69件 (うち招待講演 11件 / うち国際学会 2件)

1. 発表者名 上杉憲幸, 山田範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 大塚幸喜, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 粘膜下層浸潤大腸癌における癌関連線維芽細胞および上皮間葉転換関連蛋白の免疫組織化学的検討
3. 学会等名 第15回日本消化管学会総会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 MSI陽性癌の病理学的特徴と病理診断 -消化管腫瘍を中心に-
3. 学会等名 第88回日本病理学会東北支部学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上杉憲幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺窩上皮型胃癌の臨床病理学および分子病理学的検討.
3. 学会等名 第91回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 杉本 亮, 永塚 真, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 マイクロサテライト不安定型超微小胃癌の1例.
3. 学会等名 第91回日本胃癌学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 免疫チェックポイント阻害薬時代の消化管腫瘍学.
3. 学会等名 第34回日本臨床外科学会秋田県支部例会. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 大腸鋸歯状病変の癌化と分子異常.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会. (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 石田和之, 杉本 亮, 永塚 真, 西谷匡央, 鈴木正通, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 萱場尚一, 菅井 有
2. 発表標題 食道に発生したWarthin tumorの一例.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上杉憲幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺窩上皮型胃癌の臨床病理学的および分子病理学的検討.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 刑部光正, 佐藤千絵, 杉本 亮, 鈴木正通, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 女性生殖器の発生を考慮した転写因子に基づく卵巢癌の新規分類の試み.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 杉本 亮, 永塚 真, 佐藤綾香, 刑部光正, 石田和之, , 鳥谷洋右, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 手繋ぎ型早期胃癌の臨床病理学的および分子病理学的検討.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本 亮, 上杉憲幸, 刑部光正, 秋山有史, 佐々木 章, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 確定診断困難な胃粘膜下病変の1例
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西谷匡央, 石田和之, 刑部光正, 佐藤綾香, 杉本 亮, 藤田泰子, 阿保亜紀子, 上杉憲幸, 佐藤 孝, 菅井 有
2. 発表標題 大腸癌と同時に発見された肺腸型腺癌の一例
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永塚 真, 上杉憲幸, 田中義人, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 佐々木 章, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 食道表在癌における免疫組織化学染色による細胞周期関連蛋白発現の検討.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 塩見 勲, 石田和之, 刑部光正, 露久保敬嗣, 山田範幸, 上杉憲幸, 高田 亮, 杉村 淳, 小原 航, 菅井 有
2. 発表標題 淡明細胞型腎細胞癌におけるmicroRNAの検討.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年



1. 発表者名 佐藤綾香, 藤田泰子, 杉本 亮, 永塚 真, 刑部光正, 上杉憲幸, 大塚幸喜, 石田和之, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 大腸進行癌の分離癌腺管および癌間質におけるmicroRNAの発現解析.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中義人, 上杉 憲幸, 山田 範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田 泰子, 刑部 光正, 石田 和之, 菅井 有
2. 発表標題 Traditional serrated adenoma (TSA) における臨床病理学および分子生物学的検討.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 露久保敬嗣, 石田和之, 塩見 叡, 永塚 真, 刑部光正, 上杉 憲幸, 高田 亮, 杉村 淳, 小原 航, 菅井 有
2. 発表標題 腎細胞癌における copy number alteration (CNA) の網羅的解析.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 佐藤千絵, 刑部光正, 西谷匡央, 鈴木正通, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 馬場 長, 菅井 有
2. 発表標題 小腸間膜に発生した中分化型Sertoli - Leydig cell tumorの一例.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山田範幸, 刑部光正, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 大腸粘膜下層癌における微小環境形成関連タンパク発現因子の解析.
3. 学会等名 第108回日本病理学会総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 刑部光正, 佐藤千絵, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 子宮体癌におけるmismatch repair蛋白の発現異常とMSIの検討.
3. 学会等名 第60回日本臨床細胞学会総会春期大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菊池いな子, 刑部光正, 高橋静子, 山田範幸, 安保淳一, 阿保垂紀子, 上杉憲幸, 石田和之, 佐藤 孝, 菅井 有
2. 発表標題 結節性リンパ球優位型Hodgkinリンパ腫の一例.
3. 学会等名 第60回日本臨床細胞学会総会春期大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Sato C, Osakabe M, Ito Y, Sato A, Nishiya M, Suzuki S, Sugimoto R, Fujita Y, Uesugi N, Ishida K, Baba T, Sugai T
2. 発表標題 Analysis of expression patterns of microRNAs in ovarian high-grade serous carcinoma.
3. 学会等名 The 38th Sapporo International Cancer Symposium (第38回札幌国際がんシンポジウム(国際学会))
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 表在性非乳頭部十二指腸腫瘍(SNADET)
3. 学会等名 第13回日本消化管学会教育集会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 田中義人, 上杉憲幸, 山田範幸, 永塚 真, 佐藤綾香, 鈴木正通, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 川崎啓祐, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 Traditional serrated adenoma(TSA)における臨床病理学のおよび生物学的検討.
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 上杉憲幸, 杉本 亮, 永塚 真, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺窩上皮型胃癌における臨床病理学のおよび分子生物学的解析.
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 永塚 真, 田中義人, 杉本 亮, 藤田泰子, 佐藤綾香, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 佐々木 章, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 大腸腫瘍（腺腫, 早期癌, 進行癌）におけるmicroRNA発現異常の解析.
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本 亮, 刑部光正, 上杉憲幸, 永塚 真, 佐藤綾香, 藤田泰子, 鈴木正通, 石田和之, 大塚幸喜, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 腺管分離法を用いた大腸癌浸潤部における癌腺管および周囲間質細胞の網羅的microRNA解析.
3. 学会等名 第78回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 分離腺管を用いた大腸粘膜内腫瘍と大腸癌のオミックス解析 -Gland based geneticsの提唱-.
3. 学会等名 第65回日本病理学会秋期特別総会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 杉本 亮, 永塚 真, 佐藤綾香, 伊藤勇馬, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 手繋ぎ型早期胃癌における臨床病理学のおよび分子病理学的特徴.
3. 学会等名 第65回日本病理学会秋期特別総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 杉本 亮, 刑部光正, 上杉憲幸, 山田範幸, 永塚 真, 佐藤綾香, 石田和之, 大塚幸喜, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 腺管分離法を用いた大腸癌腺管および周囲間質の網羅的messenger RNA解析.
3. 学会等名 第65回日本病理学会秋期特別総会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 菅井 有, 高橋弥生, 永塚 真
2. 発表標題 発生部位に基づいたmicrosatellite stable型大腸癌における臨床病理学的、分子病理学的解析。
3. 学会等名 第88回大腸癌研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉憲幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 大塚幸喜, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 大腸粘膜下層浸潤癌における癌関連線維芽細胞および上皮間葉転換関連蛋白の免疫組織化学的検討
3. 学会等名 第88回大腸癌研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本 亮, 上杉憲幸, 刑部光正, 吉田雅一, 赤坂理三郎, 大塚幸喜, 佐々木 章, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺管分離材料を用いた大腸癌の予後因子の検討。
3. 学会等名 第88回大腸癌研究会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉憲幸, 山田範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 大塚幸喜, 石田和之, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 大腸粘膜下層浸潤癌における癌関連線維芽細胞および上皮間葉転換関連蛋白の免疫組織化学的検討。
3. 学会等名 第14回日本消化管学会総会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本 亮, 菅井 有, 松本主之, 佐々木 章
2. 発表標題 分化型粘膜下層浸潤胃癌における簇出とリンパ節転移の検討.
3. 学会等名 第14回日本消化管学会総会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 鳥谷洋右, 川崎啓祐, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 SNP arrayを用いた大腸腺腫、粘膜内癌における分子学的変化.
3. 学会等名 第14回日本消化管学会総会学術集会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 消化管病理医からみた消化管家族性腫瘍の病理と分子異常.
3. 学会等名 第24回日本家族性腫瘍学会学術集会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Sugai T
2. 発表標題 Recent Advances in Molecular Carcinogenesis of Colorectal Carcinoma.
3. 学会等名 Maastricht Pathology 2018 (英国病理学会のマーストリヒト大会2018) (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石田和之, 田井誠悟, 永塚 真, 山田範幸, 千田喜子, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 菅井 有
2. 発表標題 肝門部領域胆管癌と遠位胆管癌における粘液形質に基づく分類の比較およびその意義.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉憲幸, 永塚 真, 杉本 亮, 山田範幸, 佐藤綾香, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺窩上皮型胃癌の臨床病理学および免疫組織化学的検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 刑部光正, 深川大輔, 鈴木正通, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 子宮体部癌肉腫における上皮間葉転換関連蛋白発現の免疫組織化学的検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 山田範幸, 杉本 亮, 刑部光正, 石田和之, 岸本光夫, 小西英一, 柳澤昭夫, 菅井 有
2. 発表標題 内視鏡的切除検体における超微小胃癌の臨床病理学的特徴.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本 亮, 上杉憲幸, 刑部光正, 大塚幸喜, 佐々木 章, 松本主之, 山田範幸, 永塚 真, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 腺管分離法を用いた大腸癌の予後因子の検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐々木孝輔, 石田和之, 山田範幸, 刑部光正, 上杉憲幸, 木村裕明, 天野博雄, 櫻庭 実, 小林誠一郎, 菅井 有
2. 発表標題 皮膚悪性腫瘍における癌関連線維芽細胞および上皮間葉転換の解析.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 深川大輔, 刑部光正, 佐藤千絵, 山田範幸, 上杉憲幸, 石田和之, 板持広明, 杉山 徹, 菅井 有
2. 発表標題 卵巣癌における癌関連線維芽細胞およびEMT関連蛋白の免疫組織化学的検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤綾香, 石田和之, 藤田泰子, 杉本 亮, 刑部光正, 上杉憲幸, 大塚幸喜, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 大腸進行癌におけるmicroRNA発現の解析.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年



1. 発表者名 塩見 叡, 石田和之, 山田範幸, 刑部光正, 上杉憲幸, 高田 亮, 大森 聡, 小原 航, 菅井 有
2. 発表標題 腎細胞癌におけるmicro RNAの検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菊池いな子, 佐藤彩佳, 山田範幸, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 肺癌組織分類に有用な免疫組織化学染色の検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 山田範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 大腸粘膜下層癌におけるリンパ節転移関連因子の解析.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤彩佳, 刑部光正, 山田範幸, 菊池いな子, 佐藤綾香, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 全身の諸臓器に生じる癌腫の鑑別に有用な免疫染色パネルの検討.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 千田喜子, 田井誠悟, 石田和之, 山田範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 菅井 有
2. 発表標題 Mesenteric inflammatory veno-occlusive disease (MIVOD)を来たした2例.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 工藤正裕, 刑部光正, 無江良晴, 鈴木正通, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 類表皮嚢胞に生じた扁平上皮癌の一例.
3. 学会等名 第107回日本病理学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 佐藤彩佳, 刑部光正, 菊池いな子, 山田範幸, 佐藤綾香, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 石田和之, 菅井 有
2. 発表標題 各種タンパクの原発巣と転移巣における発現差異の検討.
3. 学会等名 第27回日本がん転移学会学術集会・総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 川崎啓祐, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 SNP array を用いた大腸腺腫、粘膜内癌における分子学的変化.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 刑部光正, 柳澤昭夫, 菅井 有
2. 発表標題 超微小胃癌の特徴.
3. 学会等名 第77回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 大腸腫瘍の病理診断と分子異常.
3. 学会等名 第36回日本大腸検査学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永塚 真, 荒川典之, 杉本 亮, 藤田泰子, 鳥谷洋右, 赤坂理三郎, 川崎啓祐, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 SNP arrayを用いた早期胃癌, 進行胃癌における染色体コピー数変化の網羅解析
3. 学会等名 JDDW2018
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 腺管分離法を用いた大腸腫瘍における分子解析.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 石田和之, 刑部光正, 山田範幸, 杉本 亮, 藤田泰子, 上杉憲幸, 藤島史喜, 鈴木博義, 澤井高志, 菅井 有
2. 発表標題 腺退形成癌(未分化癌)における上皮間葉転換関連蛋白の発現について.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 上杉憲幸, 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 腺窩上皮型胃癌の臨床病理学および分子病理学的検討.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 藤田泰子, 上杉憲幸, 山田範幸, 永塚 真, 杉本 亮, 刑部光正, 石田和之, 岸本光夫, 小西英一, 松本主之, 柳澤昭夫, 菅井 有
2. 発表標題 内視鏡的切除検体における超微小胃癌の臨床病理学的特徴.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 杉本 亮, 上杉憲幸, 刑部光正, 赤坂理三郎, 永塚 真, 藤田泰子, 石田和之, 大塚幸喜, 佐々木 章, 菅井 有
2. 発表標題 臨床病理学および分子病理学的因子に基づいた大腸癌の予後因子の検討.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 永塚 真, 杉本 亮, 藤田泰子, 川崎啓祐, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 大腸腺腫, 粘膜内癌, 浸潤癌における体細胞コピー数変化に基づいたゲノムワイドな分子解析.
3. 学会等名 第29回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 肥田野 靖史, 石田和之, 佐藤彩佳, 上田奈央子, 高橋静子, 菊池いな子, 山田範幸, 安保淳一, 佐藤綾香, 鈴木正通, 杉本 亮, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 菅井 有
2. 発表標題 尿細胞診における紡錘形細胞の意義に関する検討.
3. 学会等名 第57回日本臨床細胞学会秋期大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 菅井 有
2. 発表標題 大腸腫瘍における病理診断と分子異常 消化器内科医と病理医の新しい連携-.
3. 学会等名 第203回日本消化器病学会東北支部例会/第159回日本消化器内視鏡学会東北支部例会(招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 深川大輔, 刑部光正, 山田範幸, 深川智之, 菅 安寿子, 古武陽子, 佐藤誠也, 千葉淳美, 上杉憲幸, 石田和之, 板持広明, 杉山 徹, 菅井 有
2. 発表標題 上皮成分に種々の化生を伴う子宮体部腺肉腫の一例.
3. 学会等名 第59回日本婦人科腫瘍学会学術講演会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永塚 真, 荒川典之, 杉本 亮, 藤田泰子, 鳥谷洋右, 赤坂理三郎, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 肥田圭介, 佐々木 章, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 早期胃癌・進行胃癌におけるゲノムワイドなDNAコピー数変化解析.
3. 学会等名 第76回日本癌学会学術総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 杉本 亮, 上杉憲幸, 永塚 真, 山田範幸, 刑部光正, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 分化型粘膜下層浸潤胃癌における簇出とリンパ節転移の検討.
3. 学会等名 第28回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 永塚 真, 川崎啓祐, 杉本 亮, 佐藤綾香, 藤田泰子, 刑部光正, 上杉憲幸, 石田和之, 松本主之, 菅井 有
2. 発表標題 SNP arrayを用いた大腸腺腫, 粘膜内癌における分子学的変化.
3. 学会等名 第28回日本消化器癌発生学会総会
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

岩手医科大学病理診断学講座  
<https://pathology-iwate-med.jp>

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----